

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略第2期の総括について

1. 基本目標 (KGI)

基本目標	数値目標	現状値 (基準年度)	実績				目標値(目標 年度)	目標達成状況
			R3	R4	R5	R6		
基本目標1	町内企業等(法人)の従業員数(3.31時点)	16,913人 (R元)	17,219人	17,514人	17,418人	16,931人	16,913人 (R6)	達成
	製造品出荷額等	4,117億円 (R元)	4,171億円	4,313億円	4,337億円	—	4,117億円 (R6)	達成
基本目標2	転入者数	2,016人 (H23-R元平均)	2,102人	2,207人	2,180人	1,994人	2,100人 (R6)	未達成
	生産年齢人口※	29,138人 (R元)	29,289人	29,430人	29,440人	29,381人	28,388人 (R7)	達成
基本目標3	合計特殊出生率	1.32 (H30)	1.26	1.25	—	—	1.60(R6)	未達成
	年少人口※	6,299人 (R2)	6,231人	6,136人	6,081人	5,962人	5,991人 (R7)	未達成
基本目標4	20代の人口※	4,695人 (R2)	4,627人	4,657人	4,740人	4,730人	4,441人 (R7)	達成
	町民アンケート調査による定住意向	85.8% (H26)	—	—	86.7%	—	85.8%以上 (R7)	達成
	人口千人あたり刑法犯認知件数の近隣5市平均との差	-0.10 (R元)	-1.2	-0.9	1.0	-1.1	-0.10以下 (R6)	達成

注:「※」の項目における実績欄は当該年度終了直後の4月1日時点の値(例 R6→令和7年4月1日時点)

注:目標達成状況について、R6実績が公表されていないものは直近の値で評価

2. 目標人口

	総人口（人）	年少人口（人）	生産年齢人口（人）	老年人口（人）	高齢化率（％）
【現状値】 R3 年（2021 年）	48,743	6,299	29,189	13,255	27.2
【推計人口】 R7 年（2025 年）	47,771	5,907	28,304	13,560	28.4
【目標人口】 R7 年（2025 年）	47,939	5,991	28,388	13,560	28.3
【実績人口】 R7 年（2025 年）	48,889	5,962	29,381	13,546	27.7
目標達成状況	達成	未達成	達成	達成	達成

※各年度 4 月 1 日時点の人口数

3. 総括評価

取り組みの検証／内部評価(Check1)

KGI(基本目標)及び目標人口の達成状況に関する分析	KGIについては、9指標中6指標で目標を達成しており、未達成となった3指標中2指標においても令和5年度末までは達成していた状況であり、全体として概ね良好な結果となった。目標人口については、令和5年度までは出生減、死亡増の傾向があるものの、社会増により人口増加の傾向を維持しており、令和6年度は転入者、特に3人以上の世帯構成における転入者数が減少し、年少人口が目標にやや届かなかったものの、総人口及び生産年齢人口について、目標を約1,000人上回り達成しており、全体として概ね良好な結果となった。		
取り組みの課題	転入者数については、新型コロナウイルス感染症の第5類移行に伴い、全国的に東京都への人流が戻る傾向が見られる。これまでファミリー層の転入超過が当町の人口増に大きく寄与してきたが、リモートワークによる郊外への移住需要の一服に加え、神奈川県内における新設住宅着工戸数の減少や物件価格の高騰が影響している可能性がある。 合計特殊出生率や年少人口については、子育て施策への積極的な投資を行ってきたにもかかわらず目標を達成できていない。		
内部評価結果	☒ 現状維持(計画どおり)	☐ 要改善	☐ 抜本的な見直し
今後の取り組み	定住人口に縛られない関係人口の施策を位置づけ、その中でも相関の高いスポーツによる関係人口の獲得に取り組む。また、少子化対策においては未婚率の上昇が大きな要因であること、また、結婚をきっかけとした転入出への有効性も踏まえ、住民ニーズも鑑みた上で、結婚支援に関する施策に取り組む。		

取り組みの検証／外部評価(Check2)

KGI(基本目標)及び目標人口に対する取り組みの効果	☒ 有効であった	☐ 有効とは言えなかった
内部評価に対する評価	☒ 適当である	☐ 適当ではない
外部委員会からの意見	・『「高座」のこころ。』のスローガンの具体的な「穏やかさ、優しさ、あたたかさ」をキャッチフレーズとして住民にお知らせしてほしい。	

	・寒川町がこれまで真剣にまちづくりに取り組み、人口減少や少子高齢化という大きな課題に対し着実に施策を実行してこられたことに、委員として心より感謝する。町が前向きに検討・推進している様々な施策が、確実に目標達成へ結びつくことを願いつつ、さらなる効果向上のため以下を提案する。 若者定着のボトルネック解消：就業マッチング（地元企業×学生・U/I ターン）、賃貸・持家支援、リスクリング支援を一体設計し、20 代前半の転出超過に直接効く施策へ資源を重点配分。 子育ての「ゆとり」創出を実装レベルへ：病児・病後児保育、短時間・延長保育、保育士確保（就職相談会の恒常開催・奨学金返済支援等）を継続強化し、保護者の可処分時間と就業継続を同時に高める。 観光推進の構造的課題解消：町内に宿泊施設がゼロで滞在・消費が伸びない現状を踏まえ、小規模宿・簡易宿所・農泊等の誘致支援と近隣市町との広域周遊をセットで進め、滞在型観光へ転換。KPI に「滞在時間・観光消費額・再訪率」を追加。 商業の生産性向上：中小商業への DX 支援（予約・ロコミ・キャッシュレス・EC・写真/動画素材提供）と、デジタル地域通貨と連動した来店促進で域内消費を底上げ。 寒川町の強みである住みやすさや地域のつながりを活かし、これらの提案が第 3 期戦略の推進力となり、町の掲げる目標の確実な達成につながることを期待する。
外部委員会からの意見を踏まえた今後の取り組み	・『「高座」のこころ。』のブランドステートメント「穏やかさ・優しさ・あたたかさ」について、既存のプロモーション施策に加え、ブランド啓発用エコバックを作成し、記念広報紙の申請者やフィルムコミッションのエキストラ参加者等に配布し、町からだけでなく町民の方々から町のブランドステートメントを伝えてもらう仕組みづくりを構築する。 ・域内企業において従業員不足の課題があることから、藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町の2市1町で広域連携し人材不足解消セミナーを開催している。また、雇用については、同じく広域事業として合同就職面接会を実施し、ハローワーク藤沢と連

携した寒川町に関連する企業のための面接会も実施している。若者向けとしては、企業の担当者と学校の先生が情報交換をする場をセッティングし企業と高等学校との就職情報交換会を実施している。住宅や子育て支援は町全体の施策として引き続き実施し、これらを連携させることで若者の定着を図る。

・保育士確保に向けて就職相談会の土曜二部制での開催、宿舍借り上げ事業や保育体制強化事業に対する補助を実施する。また、令和8年度からのこども誰でも通園制度の施行に対応するとともに、母子手帳アプリ等の活用による子育て情報へのアクセス向上を検討する。これらの取組により、子育ての「ゆとり」を創出する。

・商工会による調査結果を踏まえ、コンベンション機能を持つビジネスホテル等の可能性を引き続き検討する。観光施策については、近隣市町との広域事業として、県外キャンペーンによる湘南地域の周知や魅力発信、町観光協会との連携等、引き続き寒川町の魅力を発信する。

・地域経済コンシェルジュを活用した創業支援・企業訪問及び相談による個別企業の成長支援により、商業者の課題に合わせた業務の効率化・DX化等の支援を行い、生産性の向上を図る。デジタル地域通貨について、デジタルスタンプラリー、お知らせ機能、ポイント還元キャンペーン等を通じて、域内店舗の利用促進を実施し域内消費を底上げする。

これらの取組により、雇用機会の確保と産業の創出、若い世代の子育て環境の整備、町の魅力と認知度の向上を図り、もって若い世代の流入促進や転出抑制に向けた施策を展開し、寒川らしい価値を提供することにより持続可能なまちを目指す。